小野田商工会議所会報
The Onoda Chamber of Commerce & Industry News

商工おのだ

2026 11
NO. 881



▸ 小野田商工会議所設立80周年記念大会 記念式典：藤田会頭による挨拶

TOPICS

小野田商工会議所設立80周年記念大会を開催
▸ 来賓、会員事業所など約150名が出席

木曜！ラジオde回覧板 / ９月放送回
▸ 出演：アステラワークス 代表 長岡 武寛 さん

おのだ産業フェスタ2026 イベント告知 （裏面）



▸ 交流会：西村 実行委員長による挨拶

■令和８年１１月の予定表

１日	
２月	
３火	［文化の日］
４水	
５木	創業相談会・経営（13時30分~16時30分）
６金	
７土	
８日	
９月	労務相談会（13時30分~16時30分）
１０火	
１１水	
１２木	
１３金	創業相談会・経営（13時30分~16時30分）
１４土	
１５日	
１６月	
１７火	創業相談会・経営（13時30分~16時30分）
１８水	創業相談会・経営（9時~17時） 普通救命講習会（9時~12時）
１９木	創業相談会・法律（14時~） ♬木曜！ラジオde回覧板（18時15分~18時55分）
２０金	
２１土	
２２日	
２３月	［勤労感謝の日］
２４火	
２５水	
２６木	
２７金	創業相談会・知財（13時30分~16時30分）
２８土	おのだ産業フェスタ2026
２９日	
３０月	記帳・税務相談会（13時~16時）

※各種個別相談会は、原則予約制となります。ご予約は、当所窓口までご連絡ください。小野田商工会議所（☎ 0836-84-4111）

今月の表紙



小野田商工会議所設立80周年記念大会

表紙の写真は、去る９月２８日（月）に開催された『小野田商工会議所設立８０周年記念大会　記念式典』での藤田会頭による挨拶の様子です。

無事に設立８０周年を迎えられたことへの感謝の言葉とともに、１００周年に向けての意気込みと、「次の世代が希望を持てる地域づくりに全力で取り組んでいく」と、未来への宣言をされました。

式典後は、記念講演会と交流会を行い、会場は大いに盛り上がり、４時間半にわたる小野田商工会議所設立８０周年記念大会行事の全てを滞りなく終えることができました。

市内一斉ノーマイカーデーについて

市では、地球温暖化対策の取組として、市内一斉ノーマイカーデーを実施します。
可能な限り自家用車を使用せず自転車などを利用して、CO2排出量の削減に取り組みましょう。

実施日　**令和８年１２月４日（金）**

取　組　**徒歩、自転車、相乗り等で移動する。また、公共交通機関を利用するなどして、自家用車の使用をできるだけ控える。**



地球環境を守るため、
私たち一人ひとりの行動が大切です。
御協力をお願いします。

■お問い合わせ先
山陽小野田市役所　環境課　/ ☎ 0836 - 82 - 1144

小野田商工会議所設立８０周年記念大会　盛会裡のうちに終了

当所は本年９月１日、設立８０周年を迎え、去る９月２８日、「小野田商工会議所設立８０周年記念大会」を開催した。本大会は、記念式典・講演会を山陽小野田市民館文化ホール、交流会をおのだサンパーク本館２階大催事場にて行い、来賓、会員事業所など約１５０名が出席した。

記念大会の開会に先立ち、１５時から文化ホールで、これまでの小野田商工会議所の歴史や活動を振り返るメモリアルムービーの上映を実施した。

上映終了後、設立８０周年の記念式典を開催した。



小野田商工会議所設立80周年記念大会　開会の様子

藤田敏彦会頭が未来への宣言

記念式典では、江田方志副会頭の開会のことば、国歌斉唱に続き、藤田敏彦会頭が「設立８０周年を迎えることができましたのも、歴代会頭をはじめ役員・議員、会員事業所の皆様、行政並びに関係機関・団体、県下商工会議所、そして地域の皆様の長年にわたる温かいご指導、ご支援の賜物であります。設立８０周年という節目を迎え、これを新たな未来への出発点とし、これから迎える１００周年に向けて、時代の変化を恐れず果敢に挑戦し続け、地域から最も信頼される商工会議所を目指していきたい。さらに、会員事業所の皆様と力を合わせ、次世代を担う子どもたちが希望を持って暮らせる活力ある地域づくりに、全力で取り組んでいきたい。」と感謝の言葉と力強い決意で挨拶した。


藤田敏彦 会頭

来賓の祝辞では、村岡嗣政山口県知事(代理・東泰宏県商工労働部長)、藤田剛二山陽小野田市長、髙松秀樹山陽小野田市議会議長から、温かい励ましや地域振興への期待を込めた祝辞が披露された。

祝辞のあと、藤川周二副会頭が閉会のことばを述べ、記念式典を締めくくった。

少子高齢化社会に向き合い、AIとともに考える未来の労働と人材育成について講演

記念式典終了後、一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアティブ 後藤宗明代表理事が、記念講演講師として登場し、『AI時代の労働の自動化とリスキリング３.０時代～少子高齢化社会と向き合うロンジェビティ～』と題して、変化する仕事や社会環境に対応するために、新しいスキルや知識を習得するリスキリング化。寿命の延命ではなく、元気に過ごせる健康寿命の延伸を重視するロンジェビティ化について講演された。従業員のスキルを把握することで足りない部分をAIで補い、新しい価値を創り出すといったAIを思い切って活用することの重要性や少子高齢化社会問題に対する従業員の健康支援の向き合い方などを熱く語られた。

講演終了後、後藤宗明氏へ野口嘉一副実行委員長によるお礼の言葉と会場から大きな拍手が送られた。



記念講演講師
後藤宗明 氏

記念大会を彩る華やかな交流会 ～伝統芸能から情熱のダンスまで、魅力満載の宴～

その後、会場をおのだサンパークへと移動、１７時３０分から交流会を開催した。交流会では、西村創之介実行委員長の開会のことば、江島潔参議院議員と吉田真次衆議院議員のあいさつ、宇部商工会議所久次幸夫会頭による乾杯の音頭に続き、株式会社レノファ山口渡部博文代表取締役があいさつを述べられ、その後アトラクションへと移った。

アトラクションでは、瞬時に顔の仮面が変わる変面ショーで会場は驚きと歓声を上げ、当所青年部・女性会会員司会進行の酒・うどん出汁飲み比べ大会にて参加者は一喜一憂。最後はサンバにて大いに盛り上がった。

アトラクション終了後、西村創之介実行委員長が閉会のことばとともに、即興マジックショーを披露、山陽商工会議所豊田弘光会頭による万歳三唱で締めくくり、記念式典から講演会、交流会と４時間半にわたる当所設立８０周年記念大会行事の全てを滞りなく終了した。



事業承継セミナーを開催 ／令和８年度山口県創業・事業承継専門家派遣等事業

当所では、９月１７日（木)、「事業承継セミナー ～ 子ども (後継者) に継いでもらえる会社にする方法 ～」と題し、税理士法人いそべ 共同代表で税理士・中小企業診断士の小平敏彦 氏を講師に招いて開催した。

本セミナーは、令和８年度山口県創業・事業承継専門家派遣等事業における事業承継支援強化月間の一環として開催し、当日は参加者９名が受講した。

はじめに、山口県事業承継・引継ぎ支援センターの立花エリアコーディネーターから、事業承継の進め方や支援事業の内容について紹介した。

セミナーでは、小平講師から事業承継の準備を進める上で重要なポイントとなる、「事業資金」と「自社の課題」の“見える化”について解説された。小平講師は、事業資金を見える化するための５つの柱として、①資金繰り表の作成、②キャッシュフロー計算書の作成、③月次決算の整備、④業務フローと資金フローの紐づけ、⑤在庫・売掛・買掛の見える化を挙げ、特に資金繰り表は、資金の流れを直感的に把握できる“会社の心電図”になると力説した。



小平講師の熱弁に耳を傾ける受講者

また、自社の課題は「事業の棚卸し」により後継者と共有すること、目には見えない無形資産（信用、ノウハウ、暗黙知など）の棚卸しもポイントとなることを説明。

最後に資金の流れを「誰もが理解できる状態」にしておくことで後継者が継ぎやすい会社を目指しましょうと伝えると、参加者は小平講師の熱のこもったメッセージを自身の事業に置き換えながら耳を傾けていた。

当所では、小平講師による無料の個別相談会を毎月第１木曜日・第３火曜日に開催しており、セミナー後のフォローアップも継続して実施していく予定。

小野田港港湾整備促進協議会が山口県知事、県議会議長に要望書を提出



去る８月１８日(火)に開催した小野田港港湾整備促進協議会総会をおいて、「重要港湾小野田港浚渫事業の促進について」の要望書を全会一致で可決しました。

これを受けて、１０月７日(水)に山口県庁において、小野田港港湾整備促進協議会、小野田商工会議所、山陽小野田市は連名で山口県、山口県議会に対して、「重要港湾小野田港浚渫事業の促進について」の要望書を提出した。

～要望書提出の出席者～

小野田港港湾整備促進協議会会長 兼小野田商工会議所会頭	藤田　敏彦
小野田港港湾整備促進協議会副会長	佐々木哲夫
小野田港港湾整備促進協議会副会長	荒牧　利丈
山陽小野田副市長	古川　博三
山口県土木建築部長	田宮佳代子
山口県土木建築部次長	櫻井　敏幸
山口県土木建築部理事	中原　健司
山口県土木建築部港湾課長	中村　　聡
山口県議会事務局長	村田　武彦
山口県議会事務局審議監	作本　真得

提出した要望書はこちらのQRから確認できます。

木曜！ラジオde回覧板

・FMスマイルウェーブにて放送中！
・毎月第3木曜 18時15分～18時55分



職人魂と地域愛で山陽小野田の未来(あす)を明るく照らす
アステラワークス 代表 長岡 武寛 さんにインタビュー

９月１７日放送の「木曜！ラジオde回覧板」は一級建築塗装技能士としてプロフェッショナルな技術をお届けするアステラワークス 代表 長岡武寛さんにご出演いただきました。今回の放送では、アステラワークスだから出来る塗装やサービスの紹介、また長岡さんが委員長を務める小野田商工会議所 青年部 未来創造委員会が行う事業内容についてもお聞きしました。

● 事業所名“アステラワークス”に宿る温かい企業理念と確かな知識と技術力

当社は２０１１年４月に塗装業として創業し、社名のアステラワークスには**“明日を照らす”仕事をしたい**という想いを込めています。**「お客様はもちろん、家族や従業員、そして自分自身の未来を明るく照らすような仕事を続けていきたい！」**そんな願いを胸に、外壁、屋根から室内までの塗装全般を手掛けています。また、当社は、**山陽小野田市リフォーム資金助成金**の対応企業でもあります。

～山陽小野田市リフォーム資金助成金とは？～

内　　容：市内在住の方が、市内の施工業者を利用して改修工事を行う場合、その経費の一部を助成する。
助成金額：リフォーム工事に係る費用（税抜１０万円以上）に１０％を乗じて得た額。上限７万円。
受付期間：令和８年４月１日（水）～令和９年１月２９日（金）※先着順・予算に達し次第終了。



私は、単に塗装の知識や技術を磨くだけでなく、国家資格である**“一級建築塗装技能士”**を取得しています。この資格は、７年以上の実務経験を必須条件とし、指定された色づくりや吹付け塗装など実際の建築塗装作業の技能が評価される実技試験と、塗料の性質や施工方法など知識が問われる学科試験の両方に合格する必要があります。**いわゆるペンキ屋ではなく、一級建築塗装技能士という確かな誇りとプライドを持って、日々の現場一つ一つに誠実に向き合っています。**

● 好きな仕事だから妥協しない。アステラワークスがお届けする未来へ続くメンテナンス

塗料は種類が豊富で、成分によって効果が違い、色の作り方や塗り方ひとつで仕上がりも変わってきます。私は、見た目の美観はもちろん、躯体（くたい）の耐久性と建築物としての資産価値を高めることに重きを置いています。**これまで培った知識と経験を活かし、お客様のニーズに柔軟にお応えすることで、お客様の笑顔、そして資産を守るお手伝いを大好きな仕事として長く続けていきたい**です。

● 職人のもう一つの顔！青年部歴２０年の活動で魅せる地域への恩返し

私は現在、小野田商工会議所青年部に所属しています。青年部とは地域の若手経営者らが集まり、この街を盛り上げていきたいと活動する組織です。２７歳で入会し、今年でちょうど２０年目を迎えました。会長職も経験し、現在は６つある委員会の中で**未来創造委員会の委員長**を務めています。当委員会の主な事業は、２０１２年に始動した**「願いが叶う街プロジェクト」**の運営です。市内の小学生の夢や願いを叶えることを目的に、これまでボートレーサーやパティシエ、シンガーソングライター、建築設計士といった夢のある職業を子供たちに体験してもらいました。今年度は大手ゲーム制作会社の担当者をお招きして出前授業を行いました。”ゲームプランナー、サウンドクリエイター、デザイナー、プログラマー、プロモーター”など、**一つのゲーム制作には多様な役割があることを学び、将来、自分の強みに合った仕事を見つけられる、子供たちの可能性を広げるきっかけになった**と感じています。当日は大いに盛り上がり、保護者の皆様からも大変ご好評をいただき、この企画を進めて本当に良かったと実感しています。

今年度で私は青年部を卒会となりますが、子供たちの未来の為にも、このプロジェクトを次の世代へとしっかり引き継ぎ、是非続けていってほしいと願っています。



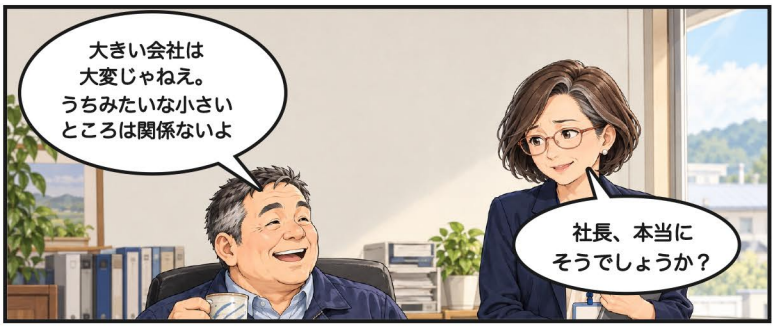
小野田商工会議所青年部
公式HPはこちら

― DX推進委員会 特別編 ―

いま、全国で相次ぐサイバー攻撃

「うちは小さいから大丈夫」…本当？

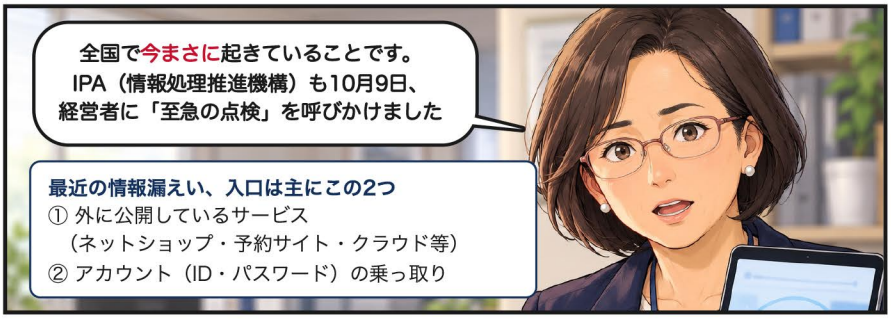
情報漏えいは、大きな会社だけの話ではありません。
経営者が「今日」やるべきことを、マンガでまとめました。











最近の情報漏えい、入口は主にこの2つ
① 外に公開しているサービス
（ネットショップ・予約サイト・クラウド等）
② アカウント（ID・パスワード）の乗っ取り



事故が起きると、**会社だけでなく経営者個人**が損害賠償責任を問われることも。セキュリティは**経営の仕事**です。

まず確かめたい 3つの点検 IPA注意喚起（2026年10月9日）をもとに

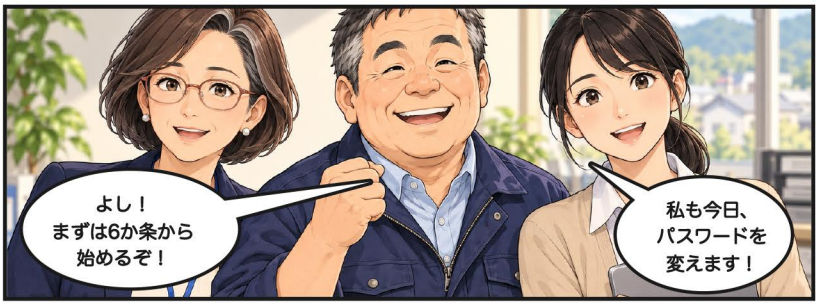
1. **知らないアカウントはないか**
   作った覚えのないID、辞めた人のIDが使える状態で残っていませんか。
2. **ログインの記録に「いつもと違う」はないか**
   深夜の時間帯や、見覚えのない場所からのログインがないか見てみましょう。
3. **更新は止まっていないか**
   ネットショップやパソコンの更新を後回しにしていませんか。

おかしいと思ったら抱え込まず、すぐ専門家へ（IPAにも相談窓口があります）。
使っていない顧客データは**持たない・消す**のも立派な対策です。

今日からできる 情報セキュリティ6か条 IPA

1. **OS・ソフトは最新に**
   更新のお知らせは後回しにしない
2. **ウイルス対策ソフトを入れる**
   定義ファイルは自動更新に
3. **パスワードを強く**
   長く・使い回さない。できれば二段階認証も
4. **共有設定を見直す**
   クラウドや複合機の公開範囲は最小限に。辞めた人のIDはすぐ削除
5. **バックアップを取る**
   ネットから切り離した場所へ。戻せるかも試す
6. **攻撃の手口を知る**
   怪しいメール・添付・偽サイトの例を社内で共有





次の一歩

① 自社診断
IPA「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」

② 宣言する
IPA「SECURITY ACTION」で取り組みを宣言

③ 備える・相談する
会員向けサイバー保険のご案内は小野田商工会議所へ

制作者：ホールトーン合同会社　森岡 修一

※今回のイラスト記事は生成AIで作成しています。

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
の研究を紹介します！

アンケートで
ご意見をお聞
かせください

研究・教員
紹介 BOOK
2026-2027



「捨てられる熱」を電気に変える半導体
～身近な元素でつくる熱電変換材料の研究～

工学部　電気工学科　助教　鮎川 瞭仁

近年、半導体はスマートフォンや自動車、AI を支える「産業のコメ」として大きな注目を集め、国内でも生産体制の強化が進んでいます。実は、半導体の中には「熱」を「電気」に変える働きを持つものがあります。私は、こうした半導体の特性を活かして作られる熱電変換材料の研究を行っています。

熱電変換のように、身の回りの小さなエネルギーを利用した発電を「環境発電」と呼び、これらは持続可能な社会に向けたクリーンなエネルギー源として期待されています。特に熱エネルギーは、工場の炉や排気、自動車のエンジン、さらには AI の普及で増え続けるデータセンター等、私たちの身の回りで発生していますが、その多くが使われないまま捨てられています。実際に、世界で消費されるエネルギーのおよそ 7 割は廃熱として大気中に放出されており、その大半は 100℃未満の低温廃熱です。この捨てられている熱を電気として回収・再利用できれば、エネルギー問題の解決に大きく貢献できます。

熱電変換の原理は、半導体の両端に温度差をつけると電圧が生じる「ゼーベック効果」と呼ばれる現象です。熱を直接電気に変換できるため動く部品がなく、静かで長寿命、メンテナンスもほとんど必要ありません。これらのメリットから、近年著しく増加している IoT センサー等に向けた小型独立電源としても期待されています。しかし、現在室温付近で使われている熱電変換材料の多くには、希少で毒性の強い元素が含まれており、社会実装は未だ限定的です。そこで私は、資源が豊富で環境負荷の低い、マグネシウムを含む化合物の応用に注目しています。

これらの材料は安価で高い性能が期待される一方で、実用に足る性能の実現や、温度の高い環境での動作、長期的な安定性の改善が課題となっています。私は、こうした課題の解決に向け、構成元素や作製プロセスの改善、さらに原子レベルの構造制御など様々なアプローチを行うことで、性能と安定性を兼ね備えた実用的な材料づくりを目指しています。加えて、作製した材料を用いた発電デバイスの開発や、AI を活用した新材料の探索等に幅広く着手し、熱電変換材料の実用化に向けた包括的な取り組みを行っていきたいと考えています。

また、本学電気工学科においては、こうした研究の知見を教育にも活かしながら、未来の半導体産業を支える人材の育成に取り組んでいます。ここ山陽小野田市から全国、そして世界へと羽ばたき、産業の最前線で活躍する人材を育てることで、地域と社会の発展に貢献していきたいと考えています。

【キーワード】半導体・熱電変換

問合せ先:山陽小野田市立山口東京理科大学 学術･地域協創推進課 Tel:0836-88-4533

日本史のトビラ

真円真珠をつくった御木本幸吉

御木本幸吉は１８５８（安政５）年、志摩国鳥羽に生まれた。御木本家は代々うどんの製造・販売をしていたが、幸吉はうどんの稼ぎではたかが知れていると考え、13歳で家業を手伝いながら青物の行商も始めた。毎日の睡眠は４時間というから驚く。

幕末、鳥羽港に英国船が停泊した際、商人たちは小舟で近づき、英国人たちに品物を売ろうとしたが、売れたのは幸吉だけだった。それは、幸吉が舟上で傘を回す足芸を見せたからだ。喜んだ外国人が彼だけを甲板に上げてくれたのだ。この成功経験が、後のパフォーマンス戦略につながった。

１８７８（明治11）年、中国人が高値で日本の真珠を購入していることを知ると、幸吉は真珠を商うことに決める。鳥羽の英虞湾（あごわん）が真珠の産地だったからだ。ただ、真珠貝（アコヤ貝）から必ず真珠が採れるわけではない。その確率は数百個に一つ。そこで幸吉は１８９０（明治23）年、大学や政府の研究者の協力を得て、貝に半円形の人工物（陶器、ガラスなど）を入れ、真珠をつくる実験を始めた。真珠の成長には３年が必要だったが、この間、財産は底を突き、妻のうめがうどん屋に加え、行商や借金の依頼などで献身的に走り回った。３年後、人工真珠の開発に成功したが、うめは過労がたたったのか、若くして病死した。

しかも、養殖技術が他業者に模倣され、幸吉は特許侵害で訴えたものの、敗訴。そこで品質で対抗しようと決意し、生産真珠の５分の１以上（最上級品以外）は市場に流さないと宣言、劣等真珠を土に埋めたのである。これによって幸吉の信用が上がった。後年のことになるが、１９３２（昭和７）年にも幸吉は、粗悪な真珠36貫（１３５キログラム）を公開で焼却処分した。総額にして、４万８０００円（米約１５０キログラムが21円の時代）だ。この行為はマスコミが大きく取り上げ、御木本真珠の格好の宣伝となった。

１９０５（明治38）年、幸吉は、世界で初めて真円真珠の養殖に成功した。この年、明治天皇に拝謁（はいえつ）の機会を得た幸吉は、真珠紋入りの紋付きはかまを身に着け、「世界中の女性の首を真珠でしめて御覧にいれます」と豪語した。以後、幸吉の事業は飛躍的に発展し、銀座の本店に加え、ロンドン、ニューヨークなど海外にも支店を出し、「ミキモト・パール」は高いブランド力を獲得した。

だが、ここにたどり着くまで、赤潮でたびたび養殖場が壊滅したり、海外の宝飾業界から「人工の真円真珠は模造品だ」と告訴されたりした。特に苦しかったのが、戦時中だ。真珠は奢侈（しゃし）品として生産が統制され、さらに銀座本店と工場を空襲で失い、海外支店も閉鎖せざるを得なかった。が、機転を利かせた幸吉は、アコヤ貝を食肉貝、粉末にした真珠を結核薬として売り出し、破綻を防いだのである。

商品の厳選主義とパフォーマンスによって、世界のミキモトを築き上げた幸吉は、１９５４（昭和29）年に96歳で大往生した。その戒名は「真寿院殿玉誉幸道無二大居士」。幸吉にとって、これほど似つかわしい戒名はないだろう。

歴史作家
河合　敦



◇河合　敦／かわい・あつし

東京都町田市生まれ。１９８９年青山学院大学卒業、２００５年早稲田大学大学院修士課程修了、11年同大学院博士課程（教育学研究科社会科教育専攻（日本史））満期退学。27年間の高校教師を経て、現在、多摩大学客員教授、早稲田大学非常勤講師。講演会や執筆活動、テレビで日本史を解説するとともに、NHK時代劇の古文書考証、時代考証を行う。第17回郷土史研究賞優秀賞（新人物往来社）など受賞。著書に『豊臣一族　秀吉・秀長の天下統一を支えた人々』（朝日新書）、『戦国武将は戦がないとき、何をしていたのか』（ポプラ新書）ほか多数。

ＡＩ時代だからこそ問われる「ビジネスの基礎力」

企業を訪問し経営者と話をしていると、最近は必ずと言ってよいほど「ＡＩをどう活用すればいいか」という話題になります。一方で、こんな嘆きを耳にすることも増えています。

「調べものを頼むと、ＡＩの回答をそのまま持ってきて、『ＡＩがそう答えていました』で終わってしまうんですよ」

確かに、ＡＩを使えば、短時間でそれらしい回答を得ることができます。しかし、顧客や上司が求めているのは「ＡＩが何と答えたか」ではありません。その内容が本当に正しいのか、自社や顧客の状況に当てはまるのか、そして「自分はどう考えるのか」まで示して、初めて仕事としての回答になります。

これは、ＡＩの使い方というより、使う側の「ビジネスの基礎力」だと思われます。例えばＡＩに「当社の新規事業を考えて」と丸投げしても、それらしい案は返ってきます。しかし、市場環境、自社の強み、顧客ニーズなどを整理し、「何が課題なのか」「何を明らかにしたいのか」を考え、プロンプト（指示）に入れて問いかければ、回答の質は大きく変わります。

そこで必要になるのが、ロジカルシンキングやフレームワーク活用などの基本的なビジネススキルです。物事を分解して考える、具体的な事象から共通点を見つけて抽象化する、逆に抽象的な話を具体的な行動に落とし込む、などです。こうした力があれば、ＡＩの回答に問いを重ね、より現実的で実践的な答えへと磨き上げることができます。

そして、もう一つ重要なのが「メタ認知」です。これは「自分が何を分かっていて、何を分かっていないのか」を客観的に把握する力です。ＡＩはもっともらしい回答を返すからこそ、「ここは承認できる」「ここは確認が必要だ」という知識の境界線を、自分自身で認識する必要があります。さらに、最初から正解を求めず、仮説を立て、ＡＩとやりとりしながら試し、修正する姿勢も重要です。失敗を恐れず、仮説→実行→検証→修正を繰り返す。これは何のことはない「仕事の基本」そのものです。

私は、ＡＩは「知識やスキルの増幅装置」だと考えています。「ビジネスの基礎力」があり「メタ認知」ができる人が使えば、その能力を大きく高めてくれます。一方、考えること自体を丸投げすれば、「ＡＩがそう言っています」と言うだけで思考は止まってしまいます。

これまでロジカルシンキングやフレームワーク活用などは、「身に付けておくと役立つスキル」だったかもしれません。しかしＡＩの登場によって、これらはＡＩを使いこなすための必須スキルへと昇華したように思います。

だからこそ、企業のＡＩ活用支援では、ツールやプロンプトの使い方を教えるだけでは十分ではありません。時間はかかっても、考える力、問いを立てる力、ＡＩの回答を評価し、自分の言葉で結論を出す力を育てる。ＡＩ時代になった今こそ、こうしたビジネスの基礎力を鍛える人材育成が、これまで以上に重要になっているのではないでしょうか。

中小企業診断士
秋島　一雄



◇秋島　一雄／あきしま・かずお

中小企業診断士。株式会社ＩＡＣ代表取締役社長。商社にて営業職として米国・インドネシア・タイへの海外駐在を経験し、管理部門業務にも従事。その後メーカーでの営業経験を経て独立。２００８年より現在に至るまで東京商工会議所コーディネーターとして中小企業支援に携わる。さらに東京都中小企業振興公社「企業変革スクール」講師兼チーフアドバイザーを務めるほか、大手研修会社、中小企業大学校、ＡＦＪ日本農業大学校、全国各地の商工会議所にて、海外展開・経営者塾・創業塾・マネジメントと育成・新人研修・営業展開・コンプライアンスなどでの講師として幅広く活動している。



山口県小規模事業者
応援キャンペーン事業

発見！新しい技術、小野田の未来！
Onoda Industrial Festival 2026

おのだ産業フェスタ2026

日時
11月28日(土)
午前10時 ～ 午後4時 ※雨天決行

場所
おのだサンパーク
西館1F サンフェスタ広場(屋内)・本館2F 大催事場(屋内)

主 催 / 小野田商工会議所
共 催 / おのだ産業フェスタ実行委員会
後 援 / 山陽小野田市、山陽小野田観光協会

小野田商工会議所↓

2F大催事場 無料(一部有料)

産業科学体験エリア

- ガラスボールペンづくり
- くすり 薬剤師会
- 太陽光で走るソーラーカーづくり
- 光る立体アートづくり など

1Fサンフェスタ広場

物販エリア

- おのだ名産品
- 自慢の逸品販売
- バザーコーナー など

福引大会

Stamp Stamp

当選本数 約300本

産業科学体験と物品購入で2個スタンプ集めると、
「商品券」や
出店店舗の逸品「名産品」が **当たる!!!**

小野田商工会議所
〒756-0824 山口県山陽小野田市中央二丁目3番1号（Aスクエア 2階）
TEL (0836) 84 - 4111 URL https://www.onoda-cci.or.jp

■発行所 小野田商工会議所
■発行日 2026年11月1日
■所在地 山口県山陽小野田市中央二丁目3番1号（Aスクエア 2階）
■TEL (0836) 84-4111
■印刷所 ㈲秋本印刷